

・一般質問	P 2
・議案審議	P 7
・委員会審査	P 8
・議決結果・賛否	P 9
・特集	P10

議会をもっと知りたくなる情報紙

## 「つくば中心市街地まちづくり調査特別委員会」を設置



センター広場とペDESTリアンデッキ



中心市街地の現地視察

駐車スペースが拡大されたクレオ横の立体駐車場

私たちつくば市議会は、西武筑波店とイオンつくば駅前店撤退後、さまざまな観点から調査研究を行っています。

昨年、12月にはキュート(Q't)とモグ(MOG)が売却され、今年3月にはクレオも売却されました。それらの経過の中、「つくば中心市街地まちづくり調査特別委員会」を設置しました。今後もさらに研究を重ね中心市街地の活力を創出できるよう邁進<sup>まいしん</sup>していきます。



6月1日には、岩手県の紫波町<sup>しわ</sup>において公民連携による地域活性化オガールプロジェクトの企画を推進しており、内閣府の地域活性化伝道師としても活躍する岡崎正信氏を講師に迎え、講演の中で活発な意見交換を行いました。

### 6月定例会ハイライト

一般質問	21名の議員が白熱の議論を展開
議案審議	令和元年度一般会計補正予算など25件の議案などを審議
請願	春日旧消防本部棟及び消防署跡地を商工会へ貸与することに関する請願書ほか1件
意見書	「核兵器禁止条約」の参加（調印・ <sup>ひじゅん</sup> 批准）を求める意見書

### 9月定例会開催予定

9月3日(火)	開会・議案上程・決算特別委員会
10日(火)	一般質問
11日(水)	一般質問
12日(木)	一般質問・議案等総括質疑・決算特別委員会
17日(火)	決算特別委員会・総務委員会・文教福祉委員会
18日(水)	決算特別委員会・市民経済委員会・都市建設委員会
24日(火)	決算特別委員会
27日(金)	討論・採決・閉会





小久保 貴史 議員

自民つくばクラブ・新しい風

筑波山観光活性化について

質疑 日本夜景遺産として筑波山が百選に認定されて以後の取り組みについて伺います。

答弁 ポスター、チラシ、横断幕、メディアを活用し、夜も楽しめる筑波山を幅広くPRするとともに、筑波山夜景鑑賞ツアーを実施しました。

今後も、観光コンベンション協会などと連携し、国内観光客はもちろん、インバウンドも意識した誘客により、筑波山観光の活性化を図っていきます。



筑波山からの夜景

衆トイレの現状と施設整備の今後について伺います。

答弁 筑波山観光案内所および筑波山第2駐車場公衆トイレは、築30年以上が経過し、老朽化が進んでいます。今年度は、観光案内所と公衆トイレを合わせた施設として改築設計を行い、来年度、改築工事を予定しています。引き続き、観光客にとって利用しやすい魅力ある施設として整備していきます。

要望 見晴台やインバウンドを意識したサインの統一について要望します。

このほか、路面電車LRT構想センター広場活性化、多面的機能支払交付金について質問しました。



浜中 勝美 議員

公明党

医療費の適正化について

質疑 2018年度より、医療費の適正化に向けた取り組みに交付金が受けられる保険者努力支援制度が開始されました。

全ての国民が、がんを含む生活習慣病を中心とした疾病の予防、合併症予防、後発医薬品の使用や適切な受療行為を取ることなどを旨とし、特定健診やがん検診の受診率向上に取り組みつつ、個人や保険者の取り組みを促すインセンティブのある仕組みです。その実績での交付予定額・

特定健康診査、がん検診の取り組み、受診料の無料化について伺います。

答弁 今年度の交付予定額は約5500万円です。国民健康保険加入者の特定健診受診率は、2018年度は速報値で37.2%です。特に受診率の低い40代、50代をはじめ、県内平均を下回る受診率向上に向けた取り組みをさらに進めていきます。また、今年度から、がん検診と特定健診のオプトアウト方式、

このほか、市職員の人材育成・労務管理について質問しました。



小野 泰宏 議員

公明党

更なる人口増と好循環サイクル構築を

質疑 つくば市まち・ひと・しごと創生総合戦略の中から、東京圏から市内への年間転入者数の増加について伺います。

答弁 目標人数4630人に対して実績値4537人と、おおむね順調に推移しています。

質疑 おおむね順調との評価ですが、転入者数の属性などについて伺います。

答弁 地区別では、つくば駅周辺を含む研究学園地区が約44%、TX沿線開発地区が約

33%、周辺地区が約23%となっています。

居住都県別では、東京都から40%、千葉県から24%、埼玉と神奈川は、それぞれ約18%ずつで、転入元による転入先の違いの傾向は余り見られませんでした。

年代別では、23歳から29歳までが29%、30歳から39歳までが23%、18歳から22歳までが約16%となっています。

意見 今回取り上げた転入数



このほか、「つくば市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の中の6項目の実績評価と今後の取り組み、つくば市のデータを活用した持続可能なまちづくりについて質問しました。



山中 真弓 議員

日本共産党

住宅誘導を調整し、新設校建設を早急に！

質疑 3年で学校を開校している流山市の事例を参考に早急に学校を建設して欲しいのですが、みどりの駅、研究学園駅周辺にそれぞれ確保されている学校用地は、購入する方向で県と交渉を始めたのか伺います。

答弁 みどりのおよび学園の森義務教育学校の児童数は予想を超える増加が見込まれます。今年度、敷地内にそれぞれ15教室、27教室の増設校舎を建設しますが、その後については新たな

な学校建設を検討しています。適正配置計画と合わせて、具体的な購入地は今後検討していきます。

質疑 都市計画部と連携し住宅誘導を調整することが可能かと考えますが、市の見解を伺います。

答弁 教育局と都市計画部との連携については、マンション建設計画や住宅建設計画、今後の学校状況など、それぞれが把握した計画、情報について速や

かな共有に努めています。

要望 地元の協力を得て住宅誘導を調整し、早急に施設一体型ではない小中学校の建設と、災害時などの安全確保のため敷地内への校舎増設は行わないことを強く要望します。

このほか、児童館の遊びの充実、中心市街地の活性化および公共利用の可能性、プラスチックごみについて質問しました。





滝口 隆一 議員

日本共産党

### 滞納問題と市民生活立て直し

税金の滞納事案を茨城県租税債権管理機構に移管しておりますが、差し押さえ中心の取り立てを市はどう評価しているのでしょうか。

滋賀県野洲市では、ようこそ滞納していただきました条例により、滞納を取り立てだけの問題にせず、滞納を市民からのシグナルとし、市民生活立て直しを目的に、市役所内外で連携した取り組みがなされています。市として導入についての考えを伺います。

伺います。

茨城県租税債権管理機構は、市税の滞納整理のほか、滞納処分執行停止の適否判断、市職員の研修や訪問支援事業による滞納整理のアドバイスなどを行っています。

滞納額の縮減を図るため、広域的な徴収体制が整備され、専門的なノウハウを持つ機構への事案移管および事務の連携は必要であると考えます。

市民生活立て直しを目的とした対応については、個別に納税相談を行い、滞納者の事情を考慮し、直ちに納付することが困難な事案などには、分割による納付や滞納処分の停止など、緩和措置を行っています。また、生活の立て直しが必要と思われるケースについては、つくば市消費生活センター、法テラス、ハローワークなどの関係機関への案内をしています。

このほか、つくば市農業基本計画改定、道路改良舗装工事について質問しました。



橋本 佳子 議員

日本共産党

### 公立幼稚園の存続守れ

10月からの幼保無償化は2年保育の公立幼稚園の存続に大きく関わります。保護者の声を受け、充足率を高めるために3歳児からの受け入れを提案してききました。公立幼稚園は、地域の核として障がいを持つ子ども、子育てに困難を抱える家庭の子ども、アレルギーを持つ子どもの対応など、大変重要な役割を果たしてきました。3歳児からの受け入れは2020年度に手を打たなければ、2年保

育の公立幼稚園の存続は難しくなるも研究者も警鐘を鳴らしています。市の見解を伺います。

統合保育やアレルギー

公立幼稚園の果たす役割は大きく感じています。一方で、無償になったら選ばれなくなる公立幼稚園というものがあり方を根本から考えないといけないと思ってきました。充足率が3割未満という状況は、現



統廃合された幼稚園

このほか、就学援助制度、保育の質と待機児童解消、残土問題について質問しました。

## INFORMATION お知らせ

### 傍聴

市議会(本会議・委員会)は簡単な手続きで傍聴できます。ぜひ、つくば市議会議場(市役所6階)にお越しください。

なお、日程は変更になることもありますので、電話またはホームページでご確認ください。

【問い合わせ】

議会事務局議会総務課

TEL 029-883-1111

(内線 6110・6120・6130)

ホームページ <https://www.city.tsukuba.lg.jp/shisei/shigikai/index.html>



つくば市議会モバイル

### 議会中継・録画放映

上記ホームページにアクセスし、「議会中継」をクリックして、視聴してください。本会議(定例会・臨時会)の開催時には生中継をご覧いただけます。また、本会議開催日ごとに3日後(休日を除く)から録画映像を視聴することができます。ぜひご覧ください。※委員会の配信はございません。

### 議会報編集委員

委員長	長塚 俊宏
副委員長	木村 清隆
委員	山中 真弓
委員	小森谷 佐弥香
委員	高野 文男
委員	黒田 健祐
委員	山本 美和
委員	須藤 光明

### お詫びと訂正

令和元年(2019年)5月1日発行のつくば市議会だより第156号の一部に誤りがありましたので、お詫び申し上げますとともに、以下のとおり訂正いたします。

1ページ: 予算特別委員会の写真の中の文言誤: 「つくば市議会予算特別委員会」正: 「つくば市議会予算特別委員会」

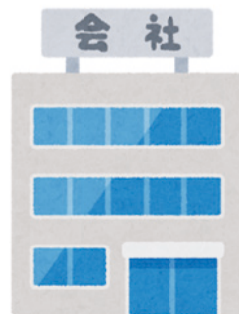
6ページ: 北口ひとみ議員の一般質問タイトル誤: 「地域全体で子ども達を育む仕組みづくり」正: 「新リサイクルセンター 開業を機にさらなるごみ削減へ!」

### 「中小企業振興基本条例」について

市の地域経済の中核をなす中小企業が活力を失うことは、地域社会を衰退させることにつながります。そのような事態を防ぐためにも、中小企業の振興を市の地域振興において、重要な行政運営の柱とし、中小企業振興施策を積極的に推進し、市の経済を活性化させ、併せて市民生活の向上を図るため、「中小企業振興基本条例」の制定を要望し、市の考えを伺います。

中小企業支援の主な実績としては、技術や経営の革新事業の拡張などに取り組む企業に対し補助金を交付し、市内定着や経営力強化、販路拡大等の支援を行っています。また、地元企業と研究機関とのマッチングの創出やトライアル発注認定制度の試験的導入など、ものづくりの地産地消につながる取り組みも行っていきます。さらに、合同就職面接会や業界研究会、採用力向上セミナーを開催

このほか、市職員の会計年度任用職員制度について質問しました。



し、若者の市内定着化を図りながら、企業の人材確保や魅力度向上につながる支援事業を展開しています。本年、市では新たな産業戦略の策定を進めており、その中で、中小企業振興基本条例についても調査研究を行ってまいります。



木村 清隆 議員

つくば政清会



たかの ふみお 高野 文男 議員

創生クラブ はがくれ

### 気候変動に伴う防災対策について

**質疑** 集中豪雨や大型台風の頻度や規模が増大する中、牛久沼・谷田川・西谷田川の、今後の水防対策について市の考えを伺います。

とが重要と考えていますので、2017年度から減災対策協議会を通して、河川管理者である県に毎年設定をお願いしています。今後も引き続き県に対し早急な対応をお願いしていきます。

**答弁** 牛久沼、谷田川、西谷田川の河川は、県が管理する河川ですが、現在、水防法による浸水想定区域が示されておりません。氾濫による災害被害を予防するためには、危険性を示す浸水想定シミュレーションを行い、避難氾濫水位を設定するこ

**質疑** 樹木の成長が早まり荒れて危険な状態の森林が増えている中で、2019年に施行された森林経営管理法の活用について伺います。

このほか、未成年者の医療福祉支給(マル福)、地域消防団のこれからの在り方について質問しました。



つかもと よいち 塚本 洋二 議員

つくば市政クラブ

### ごみ処理行政について

**質疑** 最近より一層、廃棄物の処理問題が大きく報道されていますが、市の状況について伺います。

**答弁** 焼却灰と不燃残渣を合わせて、年間約1万1千tです。一部を再利用するために溶融固化に250t、昨年度は、砕石化処理を開始して、160tあります。先ほどの1万1千tから差し引いた残りが最終処分場に埋め立てとなります。

**答弁** 昨年度にクリーンセンターへ搬入されたごみは約8万2千tあり、燃やせるごみが約7万2千tとなります。

**質疑** 焼却処分された後の焼却灰の量について伺います。

**質疑** 焼却灰などを処分する最終処分場について報道では各地の処分場で搬入できる期限があと数年しかないことや新規の搬入契約を行わないことなどの問題が出ていますが、市の処分場の状況について伺います。



かねこ かずお 金子 和雄 議員

新社会党

### 登下校時の子どもたちの安全確保について

**質疑** 最近、全国的なニュースで児童を狙った傷害事件や登下校時に車が突っ込む死傷事故が数多く発生しており、大変痛ましく思っています。

りながら、安全な通行を確保するための対策を実施しています。また、学校などからの要請により、児童の登下校時における防犯環境美化サポーターによるパトロールを強化しています。さらに、警察や自警団などの防犯ボランティアと連携を図り通学路での立哨指導などの安全対策を講じています。

市でも同様の事件・事故が発生してはならないものと感じていますが、市における安全対策・対応について伺います。

**答弁** 建設部では、通学路の安全対策については、つくば市通学路交通安全プログラムに基づき、教育局や警察と連携を図

このほか、チャレンジアートの取り組み、上水道事業、地域交流センターの駐車場および手狭な施設、大型店舗の出店について質問しました。



**質疑** 園児移動路の安全確保について

**質疑** 大津市での事故後、心配の声が寄せられています。市の対応について伺います。

**答弁** 市内の関係部署や警察と連携し、危険箇所道路標識の設置や歩道の車止め、ガードレールなどの防護柵を設置するなど通行の安全を確保するための対策を実施していきます。

**要望** 園児の安全確保については、各部署で連携して取り組まなければならないと思います。今後ともさまざま要望があると思いますので、対応をよろしくお願ひします。



くろだ けんすけ 黒田 健祐 議員

自民つくばクラブ・新しい風

### 園児移動路の安全確保について

また、お散歩コースにおける危険箇所などの事前確認と把握見直し、当日の教員の同行方法

このほか、学校跡地利用の陸上競技場の調査内容、高工ネ研南側未利用地に対してこれまで市が行った対応、し尿処理排水の流出について質問しました。





ヘイズ ジョン 議員 自民つくばクラブ・新しい風

### 通勤時間に発生している渋滞対策について

【質疑】 産業技術総合研究所とJAXAの間を東西に走る洞峰公園通りで、朝の通勤時間に大変な渋滞が発生していますが、この慢性的な渋滞について、市がどのような対策をとることができるか伺います。

【答弁】 産業技術総合研究所北側入口に面する市道、通称「洞峰公園通り」では、朝の通勤時間帯には、大通りから流入する交通量も多く、研究所などへ右折で進入する車両により渋滞が発生している状況です。渋滞緩和策の一つとして、研究所などへ進入するための右折レーン設置も有効な手段として考えられます。今年度実施する都市計画

道路整備プログラム策定支援業務において、市内の交通渋滞の現状と要因を分析しながら解決の方策を検討していきます。このほか、東京2020オリンピックの正式種目として採択されたスケートボードが楽しめる環境整備の進捗について質問しました。



宇野 信子 議員 つくば・市民ネットワーク

### TX沿線の深刻な学校過密はなぜ起きた?

【質疑】 学校建設の想定は、2009年、2014年の学校等適正配置計画でどう変わったか伺います。

【答弁】 子育て世代が急増し、新設校を希望する世帯が多かったことに加え、施設一体型小中一貫校1校に方針転換したこと

も影響したと推測されます。

【質疑】 校舎増築中の2校では、2、3年後に再び教室不足となる見込みです。当初の計画どお

【答弁】 2009年時は、みどりの・学園の森地区いずれも小学校2校、中学校1校の建設を計画していましたが、2014年時には、施設一体型小中一貫校1校ずつの計画に変更となりました。

り着手していれば増築は必要なかったと考えますが、いつ判断すれば間に合ったか伺います。

【答弁】 通常の大規模の学校は5年は見込まなければいけないと思いますので、2020年であれば2015年となります。

【質疑】 計画策定後も毎年推計をしていけば、もっと早く手を打てたと思いますが、どう考えるか伺います。

【答弁】 毎年必要かは今後精査しますが、3年に1回程度、または、その増加率に以前と変わった状況が見えた時点で、推計をやり直すべきと考えます。



小森谷 佐弥香 議員 つくば・市民ネットワーク

### 子宮頸がんワクチン、リスクもわかりやすく

【質疑】 子宮頸がんワクチンは、重篤な副反応の数が10万人あたり52・5人と他に比べ大変多い状況です。接種により子宮頸がんそのものを予防する効果は証明されていないということですが、ワクチンの効果の持続期間はどのくらいかについて伺います。

【答弁】 一般社団法人日本ワクチン産業協会が国立感染症研究所の監修を受けて作った資料に

よると、国内外で臨床試験が行われているのは事実ですが、長期の有効性に関する検討は、現在も進行中であり、今後また新たなエビデンスが構築されるものと考えます。

【質疑】 有効性に疑問が残ります。ところで子宮頸がんの罹患率などを下げるためには子宮がん検診があると思いますが、市の受診率を伺います。



皆川 幸枝 議員 つくば・市民ネットワーク

### もっと市民活動の支援を!

【質疑】 ①市民活動を支援・助成する各制度、②市民活動から市の事業になったものはどのようなものがあるか伺います。

【答弁】 ①「地域まちづくり支援制度」は、市民による自発的なまちづくり活動を行う際に、勉強会への専門家派遣や活動に対して助成を行います。

「アイラブつくばまちづくり補助金事業」は、市民が提案する自主的かつ自発的な個性豊かなまちづくり活動を行う際に、市が継続的に取り組むべき事業と判断し、アイラブつくばまちづくり推進委員会で承認された事業に事業負担金を交付する制度です。

②大穂地区子育て応援事業があり、挨拶・声かけ運動、大穂地区小中学校交流会、子育てカレンダーの作成、小中学校絵画コンクールなどを行っています。

【答弁】 2017年度で24・6%です。

【要望】 子宮がん検診の受診率向上のための啓発と、接種者がきちんとリスクと有効性を判断できるように情報提供と相談体制を整えることを要望します。



このほか、農薬(除草剤・殺虫剤を含む)の使用について質問しました。

【質疑】 アイラブつくばまちづくり補助金で、年々申請が増え、昨年度は予算額を超え、年度途中で募集が打ち切られました。このような状況をどう考えているか伺います。

【答弁】 当初予算の増額要求を考えています。

このほか、「つくば市教育大綱」のこれまでの審議経過と今後の進め方について質問しました。



北口 ひとみ 議員

つくば・市民ネットワーク

### スタートアップがもたらす効果は？

**質疑** スタートアップが、市にもたらす効果は何か伺います。

**答弁** 効果については、革新的な技術開発や社会問題の解決、新たな産業の創出などがあると考えます。スタートアップの創出・育成を支援することにより、将来的に若者の移住定住や雇用の創出、税収増加が期待され、持続的な発展につながると考えています。

**質疑** ベンチャーやスタートアップは地元産業とはかけ離れていくと思います。

**答弁** 地元企業にとって、スタートアップほど重要なものではなく、革新的な企業と連携をすることにより、地元企業の製品やサービスが向上するということもあろうかと思えます。

持っているようなイメージがあり、地元育成が最優先課題ではないかとの声もあります。自治体がスタートアップに関与する理由・意義について市の考えを伺います。

**答弁** 地元企業にとって、スタートアップほど重要なものではなく、革新的な企業と連携をすることにより、地元企業の製品やサービスが向上するということもあろうかと思えます。

シーズをどのような意図を



山本 美和 議員

公明党

### リサイクルセンター始動、先進的取り組みを！

**質疑** 市の障害者の就労支援、障害者優先調達推進は進んでいません。水戸市での取り組みのようにリサイクルセンターでのビン・カンなどの選別処理事業に障害者の方のお力を借りてはいかがでしょうか。市の考えを伺います。

**答弁** 障害者の雇用については、次年度から予定している包括運転管理委託契約の仕様書に盛り込む予定であり、現在、障害者の安全確保を考慮し、業務などの雇用要件を検討しています。

**意見** プラスチック製容器包装の分別収集は月2回の回収では足りません。プラスチック回収を進め、リサイクル率を高めるなら、回収日を増やすべきです。



このほか、幼児教育・保育の無償化について質問しました。

持って産業化していくかということが市の仕事であり、そのことによって、雇用も生み出すことができる。起業をして一つの会社ができれば、雇用が生まれてくるという意味では、市にいる全ての人の働く場の提供になります。全ての市民にとってプラスになるスタートアップ推進を進めていきたいと思っております。

8月 August 2019						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

このほか、災害時の母子支援・液体ミルクの備蓄導入、食品ロス対策、図書館事業について質問しました。

## 議案審議

『専決処分事項の承認を求めることについて(つくば市国民健康保険条例の一部を改正する条例)』

**質疑** 国民健康保険税の医療給付費分の課税限度額を58万円から61万円に引き上げた影響と世帯数について

**答弁** 被保険者の課税所得などに税率を掛けた課税額の世帯合計額に賦課限度額として上限を設けていますが、相当の高所得者であつても限度額までしか負担しない仕組みとなっており、負担能力に応じて応分の負担を求めるという考え方を進めるために、その限度額の上限を引き上げるものです。例えば40歳代の世帯主だけに給与収入があるとした場合、1人世帯では約1024万円以上、2人世帯では約993万円以上、4人世帯では約925万円以上の給与収入のある約950世帯に影響があります。

**反対討論** 4人世帯で年収925万円の世帯が対象となることわかりました。子育て世代としては、年収925万円というのは大きな収入であるとは言えませんが、そこに58万円から61万円に限度額が上がったことは、大きな支出となると考えるため、反対します。

**賛成討論** 今回の改正は、国民健康保険の賦課限度額と所得判定基準を改正するものであります。高齢化の進展などによる医療給付費の増加が見込まれる中、国民

健康保険制度の安定した運営のためには必要な改正であるため、賛成します。

『つくば市政治倫理審査会条例の一部を改正する条例について』

**反対討論** 昨年、市で市民参加推進に関する指針が示され、多くの審議会で公募による市民委員の参加が実現しました。今回についても、公募による市民委員を選出すべきと考え、反対します。

**賛成討論** 今回、条例改正で「地方行政に関し優れた識見を有する者」の要件を加えたことは、これまでの任命経緯に沿うものであり、条文中明確になるものと考え、賛成します。

**賛成討論** 政治家の資産報告に限って言えば、裏づけ資料は相当プライバシーにかかわるものですが、市民参加の議論もありますが、今回一歩立ちどまることになりませんが、それが適当かどうか改めて市議会、市当局、そして市民が議論していくことが必要であると考え、賛成します。

**反対討論** 国民の生命と財産を守る責任を有する立場から、現実の安全保障上の脅威に適切に対応しながら、地道に現実的な核軍縮を前進させる道筋を追求することが必要であり、核兵器保有国や核兵器禁止条約支持国を含む国際社会における橋渡し役を果たし、

現実的かつ実践的な取り組みを粘り強く進めていくとする政府の立場を支持し、反対します。

**賛成討論** 市と市議会は、1990年に「世界をリードする国際科学都市つくば市は、非核平和都市宣言を行い核兵器廃絶と平和の願いを内外に示します」とし、戦争や軍事研究に反対することとあわせ、核兵器の廃絶を求めることを決議しています。この宣言で述べられている市と市議会の意志を表明するためにも、採択すべき請願と判断し、賛成します。

**反対討論** 「核兵器禁止条約」への参加(調印・批准)を求める意見書」の参加(調印・批准)を求める意見書」を求め、否決

**賛成討論** 本意見書は、市民経済委員会が賛成多数で出すことを決めたという経過があり、非常に大事なことだと思えます。この意見書の中身は開発、生産、実験、製造、取得、保有、貯蔵、使用、その威嚇に至るまで核兵器に関わるあらゆる活動を禁止し、抜け穴を許さないものとなっています。今の政府が何か橋渡しができるような口ぶりですが、実際は何の力もないことをやっています。

**賛成討論** そのようなことよりも、着実に草の根からこうした決議を積み上げていくことが世界平和に確実に到達する近道ではないかということとを主張して、賛成します。

そのようなことよりも、着実に草の根からこうした決議を積み上げていくことが世界平和に確実に到達する近道ではないかということとを主張して、賛成します。

総務

『令和元年度つくば市一般会計補正予算(第1号)』

審査結果Ⅱ可決すべき

『質疑』 AIOCRの内容について

『答弁』 従来からあるOCRにAIという人口知能を組み合わせた...

『つくば市政治倫理審査会条例の一部を改正する条例について』

審査結果Ⅱ可決すべき

『質疑』 改正の理由について

『答弁』 今まで、専門知識を有する弁護士や税理士、経験豊富な市の元部長、審議会などで委員の経験のある大学教授などを任命して...

『請願31第4号 春日旧消防本部棟及び消防署跡地を商工会へ貸与することに関する請願書』

審査結果Ⅱ趣旨採択とすべき

『質疑』 跡地の利用計画について

『答弁』 児童発達支援センターの設置に向けた検討会で消防庁舎跡地が有力になっていると担当部門から聞いている。

文教福祉

『令和元年度つくば市一般会計補正予算(第1号)』

審査結果Ⅱ可決すべき

『質疑』 葛城小学校のみ土地を取得する理由と増築校舎について

『答弁』 2018年度から土地の購入について検討していたが、今年度当初には、葛城小学校PTAからの要望もあり、内部で協議した結果このような方針となった。

『質疑』 介護施設準備経費補助金の概要について

『答弁』 谷田部東園域の下原と桜園域の柴崎にそれぞれ定員29名の規模の地域密着型特別養護老人ホームを整備する。

『財産の取得について』

審査結果Ⅱ可決すべき

『質疑』 新谷田部給食センターの厨房用物品の購入契約の発注を3件に分割した理由について

『答弁』 総額で1億円を超える規模で、参加業者が少なくなることで懸念されることから消耗品、備品、食器カゴの3件に分割することで受注機会を増やし、競争性を高めた。



市民経済

『つくば市産業振興センター条例の一部を改正する条例について』

審査結果Ⅱ可決すべき

『質疑』 今回のリニューアルの概要について

『答弁』 1階に気軽に立ち寄ることができ交流スペースやカフェのほか、シェアオフィス機能を持つコワーキングスペース、セミナールーム、会議室を設置する。スタートアップの創出・育成を図るとともに交流拠点としていきたい。



つくば市産業振興センターイメージ

『請願31第3号 「核兵器禁止条約」への参加(調印・批准)を求める意見書の提出を求める請願書』

審査結果Ⅱ採択すべき

『反対討論』 日本政府による「核軍縮の実質的な進展のための賢人会議」での提言を含め、現実的な状況を支援していくことから、反対する。

『賛成討論』 唯一の被爆国として核兵器廃絶の意図を示すことは重要であると考え、賛成する。

都市建設

『令和元年度つくば市一般会計補正予算(第1号)』

審査結果Ⅱ可決すべき

『質疑』 公有地活用推進に要する経費の廃棄物処理委託料の内容について

『答弁』 2018年10月、高工ネ研南側未利用地において門扉が壊され、敷地内の管理用道路に産業廃棄物の不法投棄が確認されたため運搬処分などを委託する。

『質疑』 再発防止について

『答弁』 防犯カメラや看板を設置した。

『質疑』 つくば市地域イベント助成事業補助金について

『答弁』 一般財団法人地域活性化センターが主催する地域イベント助成事業に地域団体の「つくば山麓古民家いなか生活体験」をテーマにしたイベントが採択されたため。

『工事委託契約の締結について』

審査結果Ⅱ可決すべき

『質疑』 工事が必要な橋梁の数と工事の進捗状況について

『答弁』 常磐自動車道にまたがっている15橋のうち、2018年度までに1橋の工事が完了しており、今年度も2橋の工事が完了する予定である。残り12橋については、2027年度までに工事を完了する計画で進めている。

議会運営委員会行政視察

【期日】 2019年5月15日から5月17日

【視察先・事項】

福井県坂井市(議会報告会、高等学校と連携した取り組みなど) 石川県かほく市(予算決算委員会、議会による行政評価および市長提言など) 加賀市(議会改革全般、委員会中継、タブレット導入など)

今回、地方自治体の議会改革度に着目し、早稲田大学マニフェスト研究所の議会改革度調査2017を参考に、ここ2年連続で全国4位の加賀市をはじめ、近隣の坂井市、かほく市を視察しました。実感したのは、自治体の規模に関わらず、議会・議員の現状に甘んじないたゆまぬ努力が、創意工夫を産み、改革を押し進めている点でした。



加賀市役所

参加者を固定せず、その時の課題解決へ向かうよう団体や高校生との意見交換会も視野に入れ工夫をしています。タブレット導入については、セキュリティの確保など十分考慮する必要がありますが、多くの情報を議会内で共有するためのツールとして活用できる側面もあり、今後引き続き導入へ向け、調査研究すべきと考えます。

議長会表彰



この度、地方自治の発展と市政の振興に貢献された功績により、3名の議員が表彰を受けました。

- 全国市議会議長会 議員在職10年以上 塚本 洋二 議員
全国市議会議長会 茨城県市議会議長会 議長在職4年以上 塩田 尚 議員
茨城県市議会議長会 議員在職8年以上 ヘイズ ジョン 議員



令和元年 6 月定例会議案等議決結果一覧

報告案件	案件名	議決結果
【報告第 5 号】平成 30 年度つくば市一般会計予算継続費繰越計算書について	【議案第 43 号】つくば市火災予防条例の一部を改正する条例について	原案可決
【報告第 6 号】平成 30 年度つくば市一般会計予算繰越明許費繰越計算書について	【議案第 44 号】市道路線の変更について	原案可決
【報告第 7 号】平成 30 年度つくば市下水道事業特別会計予算継続費繰越計算書について	【議案第 45 号】市道路線の廃止について	原案可決
【報告第 8 号】平成 30 年度つくば市下水道事業特別会計予算繰越明許費繰越計算書について	【議案第 46 号】市道路線の認定について	原案可決
【報告第 9 号】平成 30 年度つくば市水道事業会計予算繰越計算書について	【議案第 47 号】工事委託契約の締結について	原案可決
【報告第 10 号】つくば市土地開発公社の経営状況を説明する書類について	【議案第 48 号】財産の取得について	原案可決
【報告第 11 号】専決処分事項の報告について	【議案第 49 号】財産の取得について	原案可決
【報告第 12 号】専決処分事項の報告について	【議案第 50 号】財産の取得について	原案可決
【報告第 13 号】専決処分事項の報告について	【議案第 51 号】工事委託契約の締結について	原案可決
【報告第 14 号】専決処分事項の報告について	【議案第 52 号】つくば市政治倫理審査会委員に任命について	同意
【報告第 15 号】専決処分事項の報告について	【議案第 53 号】つくば市政治倫理審査会委員に任命について	同意
【報告第 16 号】専決処分事項の報告について	【議案第 54 号】つくば市政治倫理審査会委員に任命について	同意
【承認第 1 号】専決処分事項の承認を求めることについて（専決処分第 6 号）	【議案第 55 号】つくば市政治倫理審査会委員に任命について	同意
【承認第 2 号】専決処分事項の承認を求めることについて（専決処分第 7 号）	【議案第 56 号】つくば市政治倫理審査会委員に任命について	同意
【承認第 3 号】専決処分事項の承認を求めることについて（専決処分第 8 号）	【議案第 57 号】つくば市政治倫理審査会委員に任命について	同意
【議案第 37 号】令和元年度つくば市一般会計補正予算（第 1 号）	【議案第 58 号】つくば市政治倫理審査会委員に任命について	同意
【議案第 38 号】令和元年度つくば市介護保険事業特別会計補正予算（第 1 号）	【請願 31 第 3 号】「核兵器禁止条約」への参加（調印・ <sup>ひじゅん</sup> 批准）を求める意見書の提出を求める請願書	市民経済 不採択
【議案第 39 号】つくば市政治倫理審査会条例の一部を改正する条例について	【請願 31 第 4 号】春日旧消防本部棟及び消防署跡地を商工会へ貸与することに関する請願書	総務 趣旨採択
【議案第 40 号】つくば市税条例の一部を改正する条例について	【意見書案第 3 号】「核兵器禁止条約」の参加（調印・ <sup>ひじゅん</sup> 批准）を求める意見書	否決
【議案第 41 号】つくば市介護保険条例の一部を改正する条例について		
【議案第 42 号】つくば市産業振興センター条例の一部を改正する条例について		

令和元年 6 月定例会議員賛否一覧（議案などに対して賛否の分かれたものを、議員からの申し出に基づき掲載しています。）

議案等番号	自民つくばクラブ・新しい風						つくば市政クラブ						つくば・市民ネットワーク				日本共産党			公明党			つくば政清会		山	新	創		
	長塚俊宏	黒田健祐	神谷大蔵 議長	小久保貴史	五頭泰誠	ヘイズ ジョン	久保谷孝夫	塚本洋二	大久保勝弘	高野進	柳沢逸夫	須藤光明	鈴木富士雄	小森谷佐弥香	皆川幸枝	宇野信子	北口ひとみ	山中真弓	橋本佳子	滝口隆一	山本美和	浜中勝美	小野泰宏	木村清隆	木村修寿	塩田尚	金子和雄	高野文男	
承認第 3 号	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 39 号	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退
議案第 56 号	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	退	退	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 57 号	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	退	退	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 58 号	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	退	退	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願 31 第 3 号	×	×	—	×	×	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×
請願 31 第 4 号	○	○	—	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
意見書案第 3 号	×	×	—	×	×	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×

※「○」は賛成、「×」は反対、「退」は退席。  
 ※議長は、可否同数の場合または特別多数議決の場合以外は表決に加わりません。  
 ※会派名（五十音順） 山＝山中八策の会 新＝新社会党 創＝創生クラブはがくれ

# 総務委員会紹介

## ◆委員長あいさつ

総務委員会は、つくば市の行政の総合的な企画、文書および法制、契約、予算・決算、広報広聴、情報戦略、国際戦略総合特区および科学技術政策、防災・消防、選挙、監査など、市の行政のかなり広範な分野の審査や調査を行う委員会です。これらの業務は、いずれも市の骨格ともいえる重要な業務であり、その機能向上を図ることは、市にとって大変大切なことと認識しています。

そのため、日常から各種の市の業務を理解したり、大学や研究所などの市内の各機関を訪問して、さまざまな取り組みを伺う「所管事務調査」を委員会として積極的に行っています。

市民の皆様が、安全で安心、そして快適で満足度の高い生活が送れるように、今後とも総務委員会所属の議員一同、活発な委員会活動を展開してまいりますので、何卒宜しくお願いいたします。

総務委員長 小野 泰宏

## 総務委員会委員



- 木村 修寿 委員
- 久保谷 孝夫 委員
- 小久保 貴史 委員
- 小森谷 佐弥香 副委員長
- 小野 泰宏 委員長
- 高野 進 委員
- 高野 文男 委員

PICK UP

## 消防本部へ新たな導入設備を視察

### NET119緊急通報システム

聴覚障害や発話が困難な方用にスマートフォンなどを使って通報できるシステムです。チャット形式で消防本部とのやり取りができます。

### 多言語コールセンター

英語だけでなく、タガログ語やミャンマー語まで17言語に対応する「電話通訳センター」を介し、外国人による通報に対応するシステムです。

### TEPCOデジタルマップ

市内に6万本あるという電柱。この電柱の標識番号を伝えることで早く正確に通報者の位置を把握するシステムです。



2020年には東京オリンピックピックが開催され、あらゆる国の方がつくば市にも訪れる可能性があります。

また、保有率が高いスマートフォンを活用することや、市内に数多くある電柱を利用したシステムを導入しており、どのシステムも非常に重要であることがわかりました。

今後も、所管委員会として、現場や使用実績を確認するなど、市民生活向上のため、注視していきます。

PICK UP

## 藻類バイオマス、ロボット安全試験センターを視察

### 藻類バイオマス・エネルギー大規模実証施設

2012年につくば国際戦略総合特区で設置された筑波大学による藻類大量培養フィールド施設を視察しました。「地域の気候条件に適合した土着藻類を、大規模に培養してオイルをつくる」ことが可能です。

また、微細藻類は、多種多様な有用成分を含有しているため、あらゆる分野に応用が可能とのことで、研究から商品化まで見据えた開発研究に取り組んでいます。



### ロボット安全試験センター

つくば市では、介護事業者用作業支援ロボットの普及促進のための補助を行っています。ロボットの安全性をどう評価するかを調査するため、ロボット安全試験センターを視察しました。

センターでは、耐荷重試験装置や車イスなどの耐久を測定するドラム式耐久試験装置など研究で得られた成果を標準化するためのさまざまな試験を行う設備が揃っていました。

エネルギーの自給自足、ロボットによる生活支援など、つくば市ならではの事業を支援していることが確認できました。

